

社会的養護の子ども達に対する職業体験に係るアンケート調査（結果報告）

アンケート実施：平成29年9月～12月
回答数：児童養護施設・里親家庭 計28件

1. 子ども達の課題について

(1) 子ども達に不足していると感じられる能力等（複数回答）

コミュニケーション能力	人間関係の構築	学校の勉強	料理、自炊	金銭感覚	タイムマネジメント	自己愛、自己肯定感	退所後の夢、目標
12	10	9	9	12	8	13	11

将来設計	経験値	その他
10	5	0

子ども達に特に不足していると感じられる能力等（複数回答）

コミュニケーション能力	人間関係の構築	学校の勉強	料理、自炊	金銭感覚	タイムマネジメント	自己愛、自己肯定感	退所後の夢、目標
10	7	3	3	4	0	6	1

将来設計	経験値	その他
4	5	0

■経験値の具体的内容

- ◎公共、役所、保険など
- ◎基本的な生活（入浴、料理等）◎工作
- ◎細やかな配慮や愛情の表現、具体的な世話など家庭構築
- ◎医療費の仕組み、銀行の利用、各種保険の加入、snsの知識など
- ◎家庭サイズでの実生活
- ◎一人で生活したことが無く、孤独に耐える経験
- ◎社会体験の機会が少ない
- ◎手続き関係
- ◎礼儀、協調性、自制心、忍耐力、克服力、持続性、誠実性

■その他の具体的内容

- ◎自分が困っていることを認め、助けを求める力
- ◎生（性）に関する知識
- ◎自分の今の言動がどういった将来の着地点になるかなど
- ◎ ○印は最近の当施設退園児の児童が、仕事を辞めた理由として上げられるものです。他のすべての項目については充分満たしているとは言い切れません
- ◎子どものためにしっかりと考え、学校とも信頼関係ができていてお任せしている
- ◎全て不足している。ここにはないが男女間の問題が一番の問題である
- ◎社会適応性、調和性、経済観念、企保的生活skill

(2)子ども達の課題を解決するため、取り組まれている内容

- ◎調理の機会を設ける。
- ◎退所に向け貯蓄する。
- ◎SSTへの参加ぐらいです。
- ◎ソーシャルスキルの研修に参加
- ◎中高生を対象とした将来設計セミナー
- ◎園内で一人暮らし体験
- ◎SSTの導入
- ◎夢プロジェクト（様々な職種の人たちを招きふれあい体験）
- ◎通塾及びボランティアによる個別学習
- ◎縁ターンシップ（職業体験、インターンシップ）
- ◎子ども会等を通して、上記不足内容（野外活動、集団遊び活動）
- ◎自己愛、自己肯定感にはたっぷり赤ちゃん返りを受け入れていくことを職員で合意を取り、実施しています。また、ホームでの話し合い活動を通してコミュニケーション能力や生活力を養うように取り組んでいます。
- ◎家庭環境の中ならば、子ども達自身が経験するようなことを施設の中でもできる範囲で行っていく。例えば近隣への買い物、自分が必要なものは自分で買いに行く
- ◎グループワーク、ロールプレイ、育て育し、退行的治療、修正のための振り返りなどを取り入れている
- ◎入所児童の約9割が被虐待児童であり、日々の養育（ホーム制、ホーム食生活）支援の中で丁寧に対応、経験させているが職員の手が足りない現状あり
- ◎人間関係の構築に重きを置いた生活、集団生活
- ◎週末、里親さん宅で家庭体験を重ねる。施設ではない生活への理解
- ◎学習支援として、塾、家庭教師の利用、心理的ケア、カウンセリングを利用
- ◎個別学習支援や自身や経験とつづけるために漢検試験にチャレンジするなどしている。夏休みには宿泊キャンプに出掛けたりチャレンジプログラムに取り組み、成功体験を重ねる
- ◎学童児においては、自分の意見を言うことのできる場の設定や将来について考える企画を実施している。また個別学習も行っている。
- ◎アフターケア事業部のSSTに参加している
- ◎施設全体では取り組んでいませんが、ケースに応じて面談の中でアルバイトや社会的な経験ができる場への参加を促している
- ◎日々の生活の中で育みたいと考えている内容です
- ◎SSTの実施
- ◎SST、アフターケア事業部のSSTに参加してからの振り返りに加えて園独自のSSTプログラムを必要に応じて行う
- ◎コミュニケーション
- ◎高校受験を控えているので、家庭勉強、塾等を進めている。自立語の生活設計を考えさせている
- ◎性虐待の子どものトラウマ治療。治療施設が無いのが現状であり、自立後の関係（男）構築が非常に心配である
- ◎地域活動、その他、家庭外学校外の活動に積極的に参加させ、異世代の方々とも交流を図れるよう心掛けている
- ◎特になし、日々の会話に意味を持たせることを心掛けている
- ◎塾や習い事に行く

2. 子ども達への就労支援について

(1)就職を希望する子ども達に対して行っている支援

- ①子ども達の視野を広げるため、他の様々な職種についても情報提供している。
- ②子ども達がなりたいと希望する職業に関する企業を紹介している
- ③職業を体験させている。
- ④就職前に予定先企業の先輩と面談させ、先輩の声を聞かせている。
- ⑤予定先企業を見学させている。
- ⑥給料、勤務地、住居といった条件で勧めている。
- ⑦その他(具体的に)

①情報提供	②企業を紹介	③職業を体験	④予定先企業の先輩と面談	⑤予定先企業を見学	⑥条件で勧める	⑦その他
16	10	10	3	6	6	7

■その他の具体的内容

- ◎ただし、全員ではない。
- ◎学校、ハローワークなどと協力
- ◎アルバイトなどを行って仕事を分らせている
- ◎基本的に学校幹旋なので学校の進路指導と密に連携している
主に高校と連携して就労支援している
- ◎今後のことなので具体的にない。工業系の高校へ通学しているので、学校側としっかり話し合っている
- ◎企業実習を数回行っている
- ◎学校紹介による入社試験で採用される

(2)学生からいきなり社会人となる子ども達に対して、社会で自立して生きていくために、入所中から取り組みを行っているか。

行っている	行っていない
15	7

■行っている場合の取り組み内容

- ◎アフターケア事業部によるSST研修への参加
- ◎女子児童には調理の練習
- ◎一人暮らしの練習
- ◎インターンシップ
- ◎代表者とのマッチング
- ◎在学中にアルバイトをさせる(高校生)
- ◎「就学基金」の見直し検討中。生活困窮や生活援助に対しての基金の運用。
- ◎話をして不安を軽減する。
- ◎アフターケア事業部のSSTへの参加
- ◎基本は生きることのうえで大切なこと、愛着(精神的)自尊感情を高めることにあり、そこに重点を置いている
- ◎アルバイトの奨励、SSTの受講、ライフストーリーの整理など
- ◎職員との人間関係、愛着関係の構築
- ◎措置延長し、個別の部屋で生活訓練実施
- ◎挨拶など、社会に出るのマナーを学童保育の中で伝えている
- ◎一人暮らしの体験、施設内別棟にて
- ◎SSTを行っている
- ◎アフターケアとして頼れるところを園以外に何か所か関係構築(アフターケア事業部、サロンドソワレ、弁護士など)
- ◎大学に進学予定である
- ◎大学に進学予定である
- ◎社会skillを身につけるようにしている。(料理、挨拶、言葉遣い、相談する連絡する)
- ◎大学に進学予定である。
- ◎夜間大学、公立短大、保育系短大、看護専門学校、四年制大学(昼間)
- ◎大学に進学予定である

(3)子ども達が企業に入社後、受け入れ企業と連携し、離職せず職場に定着できるよう、支援を行っているか。

行っている	行っていない
13	11

■行っている場合の取り組み内容

- ◎高校からの紹介の場合は行っていない。
- ◎施設からの紹介の場合は、雇用主との連絡、児童への対応を行う。
- ◎職親的に雇用してくださっている企業との連携
- ◎企業とは連携していないが、相談があれば話を聞いている。対応が必要であれば、できるだけしていく。
- ◎担当が企業訪問等に行っていたが、問題が出た時が多く、あまり効果が出ない。これから担当者を決め、定期訪問の必要あり。
- ◎企業に限らず、生活場所への訪問も必要。
- ◎訪問し、就職先へのあいさつや児童の特性理解を促す
- ◎田邊童園は今までともに卒業生がいなかったのですが、昨年度の卒業生には入社式などへの参加、世話担当との交流などを行っている。また里帰りとしてお盆や連休に帰ってきて職員と十分に時間をとっている
- ◎個々のケースによる
- ◎関係者が集まって協議、職場訪問など
- ◎アフターケアを行う。ただし企業との連携ではない。離職させないことが目的ではない
- ◎必要に応じて企業との面談、本人へのフォロー
- ◎職場への訪問や電話での様子伺い
- ◎可能な場合には、連絡先を交換しておく
- ◎支援学校卒業の場合は、学校を中心に協議、必要に応じてjobコーチをつけている
- ◎入社先の社長などと面談
- ◎まだ自立した子供はいない
- ◎常に職場の状況や自身の姿勢についてコミュニケーションを図っている

3. 子ども達への職業体験について

(1) 子ども達への職業体験を通じて、子ども達に学んで欲しい内容

コミュニケーション能力	人間関係の構築	やりがい	職業の情報	複数の職業体験	その他
17	20	17	14	11	3

■その他の具体的内容

- ◎働くことへの肯定感（生活保護を受ければ働かなくても何とかかなると思わないよう）
- ◎責任を自分で持てる、責任転嫁しない力
- ◎就労の厳しさ
- ◎責任感協調性

(2) 体験させてあげたい職業の種類

販売員	WEB関連	営業	製造業	警備員	事務	美容師	介護士
13	8	6	14	4	10	9	11

保育士	飲食	建築	士業	その他
12	15	10	2	5

■その他の具体的内容

- ◎本人の希望に合わせた職業
- ◎子ども達が体験してみたいと興味を持つよう、受け入れ先の雰囲気が分かる一覧（冊子など）を作って欲しい。
- ◎できるだけ多くの職業があることを知ってほしい。
- ◎特に職業体験をさせたい子は、体験へのハードルが高く、職員同席などの工夫が必要である。
- ◎研修やセミナーも向き合うのがしんどくて、なかなか参加できない子がいる。
- ◎その子の特性や性格に合わせて体験をさせたいとは思っています
- ◎上記に列挙されている職業はもちろんのこと、ここにはない専門職（例えば警察官や弁護士、医者など）スポーツ選手、それらの人たちを支える仕事の裏側など、実際に体験することが難しくても実際に見たり感じたりするだけでも違うので、幅広く開拓したいという想いは強い。課題はそういった動きをする職員の配置が実現できるかどうか？施設単位で推進する動きも今後活発になっていきそうな予感はあるが、現状はヒーリングケアからアフターケアへの取り組みが不十分であるという葛藤が強い
- ◎本人が希望するものが適切、そうでないと心に入らない
- ◎特にこだわらない。その児童が望むところに。
- ◎療法心理士
- ◎農業